

東京と緑



発行所
(一)東京都造園緑化業協会
東京都渋谷区神南1-20-11
電話 (03)3462-2858
http://www.tmla.or.jp
編集/広報委員会

《224号の主な内容》
【2面】東京都予算、緑意
東京都意見交換会
造園業に関わる入札制度①
【3面】造園業の進捗・就職サポート
関東甲信協議会、造園雑感
【4面】東京みどり探訪(28)
剪定研修会、事務局の動き他

令和4年度

事業計画・収支予算等が 理事会で承認

令和4年3月25日、渋谷東武ホテルにおいて、令和3年度第4回理事会が開催され、令和4年度事業計画(案)、収支予算(案)が議決、承認されました。

「目的」「事業」に基づき、例年実施している事業に、新たな社会情勢を加味して策定しました。まず、①都知事や都議会、自民党都連等に対する要望活動により要望内



理事会のようす

容の実現をすることです。東京都からは街路樹剪定士の活用や最低制限価格の導入等について、前向きな回答が得られてきています。また、防災訓練への参加など公園協会との連携も強まっています。こうした動きを更に加速させ、公園緑地部や公園協会と現状を踏まえて意見交換を重ね、会員要望が一步でも前進するよう取り組んで参ります。また、要求実現には他県の動きも重要になってきます。そのため、関東近



永年の感謝を込めて東武ホテルに花鉢を贈呈

今年度も、いまだ新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下での年度開始となりましたが、今後の状況次第では事業計画の変更も視野に入れつつ、事業運営して参ります。

②造園技術・技能向上のために、チェーンソーや刈払機に加え、昨年度初めて実施したフルハーネスの作業研修、造園業務安全講習会、剪定講習会等の技術研修会、施設見学会などを引き続き実施します。③広報活動では、年3回の「東京と緑」の発行、都内自治体の緑化動向を調査した「東京都緑化白書」の発刊、ホームページやSNSなど様々な手段を活用した情報発信を行います。④緑の普及啓発活動では、日比谷公園ガーデンニングショー2022への参加や都民向け樹木手入れ講習会の開催、未来の造園業界を担う都立農業系高校へのインターンシップ事業の実施、防災対策としての東京都総合防災訓練等に参加いたします。⑤現在、新小岩公園内で実施している剪定枝葉のリサイクル事業を継

令和4年度

東京都公園緑地関係予算 知事からの回答

昨年11月に行った「令和4年度東京都公園緑地関係予算」の要望に対して、令和4年1月27日付で文書回答がありました。「緑豊かな風格ある都市環境の形成を図るため、都立公園の整備や植物等の維持管理は、中長期的な視点により実施することが重要であり、令和4年度も引き続き取り組んでいく。」として、令和4年度公園緑地等関係予算は、都立公園・管理費51.8億円(3年度37.8億円)、海上公園整備・管理費70億円(3年度66億円)となっています。

都知事からは、「長きに渡って、新型コロナウイルス感染症との闘いが続く中、感染防止対策等にご協力を賜っていることに心より感謝申し上げます。現在、オミクロン株の急速拡大により、社会活動の基盤が大きく揺らぐ事態が危惧されており、今が重大な局面という意識の基、都庁の総力を挙げて、迅速な対応を講じます。引き続き、コロナ対策へのご協力をよろしくお願いいたします。皆様方の御要望・御提言につきましては、現場の実態に即した貴重な御意見

としてしっかりと受け止め、希望という名の光が溢れる明日の東京を創りあげてまいります。」とのことでした。なお、本誌2面に各局予算を掲載しましたのでご覧ください。



新会員入会のお知らせ

令和4年4月入会

- 〔株〕東緑化(八王子市)
【代表取締役】佐藤 恵也 【電話】042-659-0618
- 〔南〕アグリゲイトガーデン(町田市)
【代表取締役】古藤 智賀子 【電話】042-791-8692
- 〔株〕檜原(多摩市)
【代表取締役】萩生田 國弘 【電話】042-372-4378

会員募集中!

～ 入会金無料キャンペーン継続中! ～

当協会は、昨年度より会員数100社以上を目指し、新規会員を募集中です。令和4年4月現在98社となり、目標に近づいてきたところです。引き続き、9月末まで入会金無料キャンペーンを継続しますので、当協会へのご入会をご検討されている企業の方々にお声がけください。また、ご興味がある方は事務局までご連絡いただきましたら、資料等お送り致します。

会員数が増えることは、業界の要望や地位向上を訴える大きな力になります。造園業界を盛り上げるためには皆様一社一社の力が必要です。この機会に是非、ご入会をご検討ください。

造園職人事業異動(課長代理級以上)一覽

令和4年4月1日付

- 〔部長級〕
 - 建設局 ●公園緑地部長 小谷 健
 - 〔統括課長代理級〕
 - 建設局 ●公園緑地部計画課統括課長代理 (緑化推進担当) 齋藤 義彦
 - 港湾局 ●臨海開発部海上公園課統括課長代理 (整備計画担当) 山岸 智子
 - 〔課長代理級〕
 - 建設局 ●公園緑地部計画課課長代理 (企画担当) 木村 郁実 ●公園緑地部計画課課長代理 (日比谷公園再生事業担当) 川村 東文 ●公園緑地部計画課課長代理 (防災公園担当) 師岡 伸行 ●公園緑地部公園建設課課長代理 (工事担当) 齋藤 勝 ●公園緑地部公園建設課課長代理 (活用整備推進担当) 仲辻 周平 ●東部公園緑地事務所工事課課長代理 (設計担当) 清水 丈太 ●東部公園緑地事務所工事課課長代理 (工事担当) 根岸 正夫 ●東部公園緑地事務所工事課課長代理 (動物園工事担当) 菱田 剛 ●東部公園緑地事務所工事課課長代理 (多摩動物公園工事担当) 石井 理雄 ●東部公園緑地事務所事業推進課課長代理 (事業担当) 市川 孝浩 ●東部公園緑地事務所事業推進課課長代理 (緑化推進担当) 黒澤 工 ●西部公園緑地事務所工事課課長代理 (事業担当) 石丸 仁 ●西部公園緑地事務所工事課課長代理 (緑化推進担当) 阿部 好淳 ●西部公園緑地事務所工事課課長代理 (野山北六道山公園建設担当) 渡邊 潤一 ●西部公園緑地事務所工事課課長代理 (工事担当) 今関 義裕 ●第三建設事務所補修課課長代理 (街路樹担当) 渡辺 亜砂子
 - 環境局 ●自然環境部緑環境課課長代理 (指導担当) 松浦 繁夫
 - 都市整備局 ●都市づくり政策部緑地景観課課長代理 (公園計画担当) 土居 裕子 ●都市づくり政策部緑地景観課課長代理 (公園計画担当) 近藤 一樹 ●都市づくり政策部緑地景観課課長代理 (緑地計画担当) 杉浦 利和
 - 港湾局 ●臨海開発部海上公園課課長代理 (協働推進担当) 福田 健一 ●東京港管理事務所臨海地域管理課課長代理 (海上公園整備担当) 紅林 宏樹 ●東京港管理事務所臨海地域管理課課長代理 (大規模海上公園整備推進担当) 清水 勝胤
 - 総務局 ●大島支庁土木課大島公園事務所長 田巻 芳則

令和4年度 東京都公園緑地関係予算概要

◆主要事業の概要

主要事業	金額(億円)	整備内容
個性豊かな都立公園の整備 (一般公園造成)	304	高井戸、六仙などで約6.1haの新規造成 篠崎、東伏見などで用地取得
都立公園の防災機能の強化充実	11	夢の島公園ほか15公園において、非常用発電設備等 の防災関連施設などを整備
既設公園の整備	85	代々木公園、神代植物公園などで改修工事
世界をおもてなしする庭園の再生	7	浜離宮恩賜庭園などで修復工事、改修工事
動物園整備	33	上野動物園ゴリラ・トラの住む森改修工事 多摩動物公園シマウマ・オリックス舎改築工事ほか
霊園葬儀所整備	41	墓所移転改装工事、立体埋葬施設整備工事、 瑞江葬儀所建替工事

令和4年度
自然公園関係
の整備費及び
管理費の総額
は、対前年度
比約6・8%
増の約29億8
千万円となっ
ている。事業
別予算は、別
表のとおりで
ある。

◆自然公園事業別予算

	R4予算	R3予算	増減額
自然公園の管理	1,181	1,155	26
自然公園の整備	1,070	938	132
世界自然遺産保全事業	578	545	33
自然公園適正利用推進事業	146	147	△1
合計	2,975	2,785	190

- ◆主要事業箇所
(自然公園の整備)
- ①秩父多摩甲斐国立公園ほか
奥多摩地区登山道改修、自然公園便所
改修、山のふるさと村施設改修 ほか
- ②明治の森高尾国立公園
歩道改修
- ③富士箱根伊豆国立公園
- ・大島(大島公園施設改修、野営場施設改修)
- ・神津島(野営場施設改修)
- ・三宅島(園地施設改修)
- ・御蔵島(歩道調査)
- ・八丈島(大賀郷園地整備、園地施設改修、
植物園施設改修)
- ④世界自然遺産保全事業
- 〈世界自然遺産保全事業〉
- ①小笠原国立公園の施設整備
- ・父島(歩道改修)
- ・母島(園地改修、歩道調査)
- ②世界自然遺産保全に関する事業
- ・ノヤギ排除(父島)、植生回復(智島列島、
父島列島)、モニタリング調査(南島、
母島石門等)、ガイド養成 ほか
- 〈自然公園等適正利用推進事業〉
- ①多摩地域および小笠原諸島における東京
都レンジャーに関する事業
- ②伊豆諸島の自然保護と観光に関する事業
- ・モニタリング調査、ガイド養成(御蔵島、
三宅島)

◆事業方針
令和4年度の東京都予算は、都政に課さ
れた使命を確実に果たし、次なるステージ
へと力強く歩みを進めることで、希望ある
未来を切り拓いていく予算として編成し
た。

都市公園事業などは、水と緑を一層豊か
にし、ゆとりと潤いのある東京の実現を図
ることを目標に、都立公園の新規拡張整備
や防災機能強化、東京の歴史と文化を伝え
る公園・庭園の再生、誰もが快適に利用で
きる公園づくり等を推進する。

街路樹事業については、「未来の東京」
戦略を踏まえ、街路樹の防災機能強化や、
きめ細やかな維持管理を継続して行ってい
くとともに、暑さ対策のための計画的な剪
定による樹冠拡大の取組を東京2020大
会レガシーとして、大会関連路線のほか、
その他路線を含めて実施していく。

都市公園事業等 (建設局公園緑地部公園建設課・計画課)

◆予算の概要

	R4予算	R3予算	増減額
建設局計(一般会計、土木費)	5,855	5,646	209
公園霊園費計	723	571	152

◆事業別予算

	R4予算	R3予算	増減額
公園霊園費計(一般会計)	723	571	152
投資的経費	492	350	142
都市公園の整備	417	288	129
動物園の整備	33	38	△5
霊園葬儀所の整備	41	23	18
小笠原公園の整備	1	1	0
経常的経費(維持管理費)	231	220	11

◆道路緑化等事業別予算

	R4予算	R3予算	増減額
投資的経費	820	834	△14
道路緑化の推進	820	834	△14
経常的経費	5,937	5,935	2
合計	6,757	6,769	△12

・街路樹の充実事業の継続
・道路緑化の推進(街路樹診断など)

・街路樹の防災機能の強化(防災診断)

海上公園関係事業 (港湾局臨海開発部海上公園課)

◆海上公園事業別予算

	R4予算	R3予算	前年度比	
投資的経費	新規整備	1,795	734	244.6%
	既設公園改修	3,368	3,339	100.9%
経常的経費	公園管理	1,515	1,817	83.4%
	維持工事費	107	104	102.9%

令和4年度港湾局海上公園関係事業費
(工事・委託費)は、投資的経費(整備・改修)
として約51億6千万円、経常的経費(維持・
管理)として約16億2千万円の総額約67億
8千万円である。

令和4年2月1日、昨年度に引き続き、東
京都庁で公園緑地部幹部との意見交換会を開
催しました。出席者は、都側が植村公園緑地
部長、根来計画担当部長、坂下計画課長、米
田公園建設課長、田中管理課長です。協会側
は、理事、副理事長、大場副理事長、住吉副理事
長、山下専務理事です。

まず意見交換と
して、当協会から
「現場で新型コロナウイルス
感染者が発生した
場合に現場に求められる対応や現場閉鎖等が
発生した場合の設計変更等の対応について」、
都の方針をお聞きしました。都からは、「東
京都における公共工事の新型コロナウイルス
感染症拡大防止対策ガイドライン」(令和2
年6月東京都)により対応することとしてお
り、設計変更についても協議の上、適切に対

公園緑地部と 意見交換会

「新型コロナウイルス感染者が発生した場合の現場対応、
時間的制約がある道路作業での設計変更協議」

きず資機材の日々回送が必要となる場合等
に、設計変更で労務単価補正ができるか」に
ついてお聞きしました。都からは、「従
来より、交通量の多い現道や通勤・通学路な
ど時間的制約がある場合は、積算上、労務単
価の割増ができるようになっている。加えて
令和3年10月からは、常設作業帯が設置でき

この意見交換会の実施状況、④東京都公園
協会の防災訓練への参加について、⑤国家予算
への要望について等をお話ししました。これ
らについては2月9日の一斉メールで会員の
皆さんに通知済みですのでご確認ください。今
後も、公園緑地部とは現場実態を踏まえた実
効性のある意見交換を継続してまいります。

緑窓

◆初心を忘れず

造園業に従事して10年余り。
時代の変化とともに私たちが取り
巻く環境も様々な変化してき
たように感じます。私が新入社
員の頃は、社内の女性社員の数
も少なく現場に出ると職人さん
たちから珍しがられることもあり
ました。現在は、造園業やほかの業種でも、作業着を着て
ヘルメットをかぶって作業をこなす女性の姿を
以前より多く見かけるようになりました。

私自身は、木に登ったり、機械を使って作業
をすることはないので、造園や植木に関す
る知識などは、現場に出て一緒に働く職人さん
方からたくさん教えていただきました。造園業
界で働くまでは「職人さん」ということにつ
いていまいましいイメージがありましたが、実際に
接してみると造園や植木以外の知識も豊富な方
が多く、そのような職人さんと話をするのもこ
の業界で働くことの楽しみの一つです。

この数年は、働く環境が変わったこともあり、
樹木の診断業務を担当することが増えてしま
した。樹木を診断し結果をまとめ判定を出すな
かで、客先の担当者から、「どの木が危険ですか？
C判定の樹木はどれですか？すぐに伐採した方
がいい木はありますか？」など聞かれることが
あります。道路や施設の管理をしている担当者

先日、一緒に仕事をした女性樹木医の方に、
加藤さんは木を伐採するために樹木医になっ
たの？樹木医を目指したきっかけは？と聞か
れたので、少しお話ししました。

植物が好きで、植物を大切にしたいとい
う気持ちを持ってこの業界を選んだはずで
す。業務に追われる日々の中でも、初心を忘れず、
人と自然が共存できる世界を目指してい
たいです。

(松村園芸株式会社管理工務部 加藤葵)

ですから、市
民や利用者
に対して危険
が及ばないよ
うに留意する
のは当然のこ
とです。私た
ちも、担当者
が知りたい情
報をなるべく
早くお伝え
できるように
業務を進め
るので、最近
は、「診断結果
を出す」とい
うことを優
先するあまり
、樹木医とし
ての本質を見
失っていたよ
うに思います。



造園業に関わる入札制度①
造園工事における総合評価方式の実施状況

2005年に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が制定されてから、国や自治体によって本格的に採用されている「総合評価方式」。公共工事の品質確保と企業の技術力を評価するため、加えて、著しいダンピングを抑制する目的等から各自治体で適用されてきた。現在、東京都の総合評価方式は施工能力審査型・技術実績評価型・技術力評価型・技術提案型の4種別で実施されている。それぞれの評価方法や算定方法については下記表、東京都電子調達システムHPを参照していただくとして、今号では造園工事に係る総合評価方式の実施状況や企業の技術点評価について焦点を当ててみたい。

表1 総合評価方式の概要

種別	評価概要	実施予定価格
施工能力審査型	中小規模の工事が対象 過去の工事実績により企業の技術力を簡易的に評価	建築 3.5億円未満 土木 2.5億円未満 設備 1.2億円未満
技術実績評価型	・技術的課題の少ない比較的大規模の工事が対象 ・企業の技術力について、過去の工事実績のほか、同種工事の実績や優良工事表彰の実績等を評価 ・企業の信頼性・社会性も評価	建築 3.5億円以上 土木 2.5億円以上 設備 1.2億円以上
技術力評価型	・技術的課題のある中規模以上の工事が対象 ・施工計画を評価項目に位置づけ ・企業の技術力について、過去の工事実績のほか、同種工事の実績や優良工事表彰の実績等を評価	建築 2.2億円以上 土木 1.6億円以上 設備 1.0億円以上
技術提案型	・技術的余地の大きい工事が対象 ・入札者の提示する性能や技術等に関する提案を評価	建築 制限なし 土木 制限なし 設備 制限なし

造園工事における総合評価方式の実施状況

令和2年度の東京都発注の造園工事は、108件であるが、この内、8件が施工能力審査型、1件が技術実績評価型の総合評価方式で実施されている。契約部署は建設局が5件、住宅政策本部が3件、財務局が1件(この案件が技術実績評価型)である。評価点のウエイトは、予定価格や算定によるが、概ね価格が6〜7割、技術点が3〜4割である。実際の落札結果においては、価格が2位で技術点が逆転しているケースが2案件、技術点が2位で価格点が逆転しているケースが2案件、その他は価格

表2 東京都施工能力審査型の内容

評価項目	評価点	備考	
工事成績評価点	0~13	5年間の内直近3件	
配置予定技術者	資格点		
	一級技術者	3	
	二級技術者	2	
	実績点		
	監理技術者として同種工事に携わった	2	
	主任技術者として同種工事に携わった	1.5	
	現場代理人又は担当技術者として同種工事に携わった	1	
企業の信頼性・社会性	災害協定締結の実績	1	全ての実績を有する場合でも3点
	協力承諾書締結の実績	1	
	単価契約工事又は緊急施行工事の実績	1	
	地域における実績	1	
	40歳以下又は女性が監理技術者として同種工事に携わった	2	
	40歳以下又は女性が主任技術者として同種工事に携わった	1.5	
40歳以下又は女性が現場代理人又は担当技術者として同種工事に携わった	0.5		

技術共ニ1位企業が落札している。企業の技術点評価の内容は

技術点評価は、工事成績評価、配置予定技術者の資格点、実績点から評価される。施工能力審査型における評価内容は次のとおりであり、満点だと21点となる。

東京都は過去の工事実績については、5年間のうち直近3件が対象となっているが、対象期間や類似工事の考え方など、各自治体でバラツキがある。また、近年の傾向として40歳以下の技術者、女性技術者を配置予定技術者とした場合に評価する自治体が増えている。優良工事表彰や、技術者表彰等の受賞実績、継続教育制度(CPD)の実績点等を評価している自治体もある。

総合評価方式の一部改定

これまで、技術点が高い場合でも低入札価格調査制度による調査基準価格を1円でも下回ったら失格となり、技術力と価格を総合的に評価するという総合評価方式の趣旨が生かされなかった。そこで、令和2年11月、東京都は工事における総合評価方式の一部改定を行い、調査基準価格に代わる「基準価格」を設定し、入札価格が「基準価格」を下回るほど、「履行の確実性」が損なわれる可能性があるとして、価格点を減算することになった。これにより過度なダンピングはかえって不利となる。なお、この制度は令和3年1月1日以降に公告等を行う案件から施行しており、技術提案型方式は対象外である。

都立高校生の進学・就職サポート／高校との連携

職業別進路ガイダンスへ協力

令和4年3月22日、就職サポート会社からの依頼で、都立豊産高校の1年生19名を対象に、造園・エクステリアの仕事についてのガイダンスを行いました。これは、生徒が造園を理解するのを深めるもので、当協会の山下専務が講師となりました。講義の内容は、造園の領域、造園会社・設計デザイナー・公務員・植木の生産販売など様々な就職先があること、その職業に就くためのルート、求められる適性や能力、やりがい、高校生活で心がけること等についてです。講義の終わりには、本年度も高校生を対象としたインターンシップ事業を行うので、積極的に参加していただくようお願いしました。



インターンシップ事業に対する高校アンケート結果

前号(東京と緑223号)では、卒業生の進路先についてのアンケート結果を記載しましたが、今号では次の2つについて、結果をご報告します。「インターンシップ事業について、生徒がどのような内容を望んでいるか」については、今まで通りいろいろな現場作業を体験したいという声が多くありました。また、「インターンシップ事業以外で、造園業界のサポートを希望する」とを聞いたところ、実際の施工現場を見ることがないので、施工中も含め、現場を見て解説していただきたいという声があがっていました。

● 高校生の就職活動スケジュール

高校生の就職活動のスケジュールは概ね次のようになっていますので、求人希望する会員企業の皆さんは時期を失しないようにすることが大切です。

- ①7月初旬の求人解禁前に、ハローワークに高校生新卒の求人票を提出する。
- ②7月中旬に生徒達がハローワークの求人票を見て、受けたい会社を選び、2社程度、夏休み期間中に会社見学に行く。
- ③会社見学後、9月中旬に入社試験が解禁となるが、この時点では生徒ひとり一社のみです。その後10月1日以降は、生徒ひとり2社同時受験が可能になります。

令和3年度

関東甲信造園建設業協会協議会の協議内容

令和3年度の協議会は栃木県での開催予定でしたが、コロナ禍の影響により前年度に引き続き、各都県の抱える課題についてメールで情報交換を取りまとめる形式となりました。事前に各都県から議題を持ち寄り、①緑の専門資格取得者の活用や入札参加への優遇等について、②緑地維持管理業務委託に係る発注形態について、③都県における都市公園整備工事における造園工事発注拡大の取組について、④激甚化、頻発化する災害への対応について、⑤造園建設業の「働き方改革」の事例について、⑥道路除草工事(委託)での、歩車道境界ブロックや中央分離帯ブロック付近の除草について、⑦街路樹の管理について、⑧今後

の関東甲信造園建設業協会協議会について、⑨魅力ある造園建設業界を目指した後継者の確保等の取組について、⑩中小企業等協同組合法に基づく組合事業について、の10議題について、各都県が回答する方法となりました。また、各都県の話題やトピックについても紹介しています。当協会から協議した①の緑の専門資格者の活用や優遇実態については、行政の対応に温度差が見られました。活用や優遇をしているのは、一部であり、特に景観が重視される路線に限って緑の専門家を有していることを入札要件にしている例がありました。しかし、各県とも、有資格者の活用・優遇は導入されるべきで、行政に働きかけて行くことが重要であると述べています。

②の造園業務委託において建設業許可を有していることが入札要件になっているかについては、これも行政の対応はバラバラですが、約半数の都県で入札参加要件になっています。また委託に総合評価制度が導入されているかについては、導入しているのは一部の県にとどまっています。各県の造園団体の中でも制度導入が適切かどうか、について検討している状況です。⑨の後継者の確保については、いくつかの都県で造園系の高校、大学等の先生方と意見交換、情報交換、高校への出前講座授業、学校訪問を行っています。当協会ではこれらの回答結果も踏まえ、当協会の今後の取り組みについて検討していきます。各都県からの回答はすでに3月23日付で皆様にメール送信済みですのでご覧下さい。

ぼくたちは厄介者？

最近よく耳にする「外来種」という言葉！外来種の中には植物や動物の多種が含まれています。が、外来種という言葉の裏には厄介者という意味合いが含まれていると思いませんか？しかし、元を正せばみんな最初から厄介者だったわけではありません。彼らは食用や緑化、そして動物の天敵として我々が海外から持ち込んだものが食用としなくなったり逃げたままになったりしたのが始まりです。中には輸入材の中に潜んで日本に入ってくる小さな虫もいます。

造園雑感

彼らの中には日本の気候に適応し、帰化しているものも少なくありません。しかし、多くは日本の固有種の生活や繁殖を脅かしたり、また、人の生産物に害を与えることされ駆除の対象とされています。人の安易な考え一つで日本に持ち込み、結果環境に適応し、自然繁殖していく彼らには生きていく権利はないのでしょうか？外来種だけでなく増えすぎた事で駆除されていく動物の多くは



桃の花(バラ科)

最近ではジビエ料理に利用されたり、皮や牙などは工芸品として利用され始めています。小型の鹿(キョン)は千葉県や東京、特に東京の離島、大島などで年間数千頭以上が駆除されています。かたや剣道の小手は彼らの額の皮を台湾で加工されたものをわざわざ輸入しているのはご存じでしょうか？駆除のための多額なお金と輸入の費用が二重にかかっている状況を打破するには、殺処分するにしても、その命を繋いでいる彼らの前で出てきたクビア力(キョン)を外来種だからと言ってただ取り上げ、捕殺するのではなく他に方法はないのでしょうか？

虫取りをすることは命のはかなさを知り大切にすることの意味をかみしめ大人になっていく大切な事なのだと思います。時代は変わっても子供達から外来種の命をただただ奪い駆除することはいい事とは思えません。動物たちや虫たちそれぞれに生きる権利はあるはずで、駆除せざるを得ないのであれば彼らにも第二の命の光を与えてあげていくことを考えていく事が我々の取るべき姿ではないでしょうか。都会から緑が減っていく中で彼らなりに頑張っているのですから。

(株式会社宝来左松島 飯野 桂子)

東京みどり探訪 28

並木通り「おもてなしの庭」整備

(東京都台東区)

文・写真/ 台東区都市づくり部公園課



大・小の対になっている朝顔オブジェ



ライトアップの様子

「おもてなしの庭」の設置を行い、続いて、種々の下草の植え付けを行い、最後につるを伸ばすまで育成されたアサガオをオブジェに絡ませて、緑あふれる空間ができあがりました。

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

整備工事は平成31年4月から改元を経て令和元年8月まで行いました。並木通りの下部には区営の雷門地下駐車場があり、出入口には朱色のゲートや看板が設置されていました。このため、これらのサインは緑地整備に合わせて景観的に調和のとれたよう薄茶色に塗り替えました。既設のステンレス製横断防止柵は撤去し、落ち着いた雰囲気のある擬木柵を設置しました。そして、「朝

顔オブジェ」の設置を行い、続いて、種々の下草の植え付けを行い、最後につるを伸ばすまで育成されたアサガオをオブジェに絡ませて、緑あふれる空間ができあがりました。

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

コロナ禍の影響で、来街者の減少やイベントの中止が続くなか、地域で生活する方々をはじめ町を訪れる方にも季節の移ろいを感じていただき、少しでも暮らしに明るさを添えられるよう、「おもてなしの庭」を四季折々に咲く花で彩っていきます。

「おもてなしの庭」の整備

整備工事は平成31年4月から改元を経て令和元年8月まで行いました。並木通りの下部には区営の雷門地下駐車場があり、出入口には朱色のゲートや看板が設置されていました。このため、これらのサインは緑地整備に合わせて景観的に調和のとれたよう薄茶色に塗り替えました。既設のステンレス製横断防止柵は撤去し、落ち着いた雰囲気のある擬木柵を設置しました。そして、「朝

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

「おもてなしの庭」の概要

①「朝顔オブジェ」
中央分離帯内の4か所に、アサガオの花の形をモチーフにした「朝顔オブジェ」を設置しています。オブジェは1か所ごとに大・小の対になっており、形状は大きさが3・5m×直径3・0m、小が高さ2・0m×直径1・8mです。ステンレス製の骨組み支柱に、竹材を伝統技法の「やたら編み」で編み込んでおり、そこにつる植物を絡ませていきます。年間を通して緑が見られるよう、常緑のスイカズラ、ムベ、オオイトビを絡ませており、これに加えて例年7月から10月にアサガオの鉢を設置し、ツルの剪定・誘引をして花が楽しめるようにしています。アサガオには、地元の田原小学校・田原幼稚園の子供たちが育てたものも植えられています。前年「おもてなしの庭」から採取した種を5月中旬に撒き、丁寧に育てられたアサガオを、7月中旬に、再び「おもてなしの庭」のオブジェに設置しています。

②在来種の下草植栽
中央分離帯には、日本らしさを演出する下草として、ベニシダ、ヤブソテツ、ナル

全国都市緑化北海道フェア 視察研修

第39回全国都市緑化フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」が6月25日から7月24日を会期に、北海道恵庭市の花の拠点「はなふる」をメイン会場に開催されます。開催テーマは「花と緑と恵みの庭を人がつなげる北の大地から」です。花のまち「恵庭」は、市民主導で行われてきました。恵庭高校(現・恵庭北高校)に昭和36年小さな温室ができたことが一つのきっかけとなり、花栽培が拡がり、「恵庭」花苗を作り、恵庭市民が買い、恵庭市民が育てる「花のまちづくり」を進めています。フェアのメイン会場となる花の拠点(はなふる)には、中央芝生広場とガーデンエリア(7つのガーデン)が展開されます。この緑化フェアの視察研修を7月8日(金)～9日(土)で実施します。1日目はフェア会場の視察やモエレ沼公園を見学し、2日目はラベンダーが咲く富良野の花風景見学ツアーや、北海道の造園団体との親睦ゴルフなどを予定しています。参加者募集案内は4月1日に会員の皆様へ送付済みですのでこちらをご覧ください。また空きがある場合もありますので、希望者は事務局までお問合せ下さい。

また第38回全国都市緑化くまももフェアは、開催テーマ「森と水の都くまもと」で花と生きる幸せをつむぐをテーマに開催テーマに3月19日～5月22日迄の会期で、熊本城公園や水前寺成趣園、江津湖などを会場に開催されています。

剪定研修会を開催しました

令和4年3月3日(木)、4日(金) 新型コロナウイルス感染症のため、延期になっていた令和3年度剪定研修会を開催しました。1日目は、青少年オリンピックセンターの会議室で座学を行い、2日目は代々木公園の一部をお借りし、安全確保の上で実技を実施しました。

座学には、当協会技術委員三浦政司講師と一部講義を当協会山田専務理事、実技には三浦政司講師と当協会会員の大森造園建設(株)から菅原浩人講師をお迎えして実施しました。

実技は、初心者と経験者の2班に分かれて、各講師から、コツや注意点、安全についてのきめ細かいレクチャーを受けての講義になりました。

今年度も剪定研修会を予定しています。その他の研修会・講習会についても状況を考慮しながら、実施します。当協会ホームページをご確認ください。

事務局の動き

(令和3年12月1日から令和4年3月31日まで)

「理事会」
第3回 12月15日
第1号議案 令和3年度事業の実施状況案について
第2号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第3号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第4号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第5号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第6号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第7号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第8号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第9号議案 令和3年度中間決算案(案)について
第10号議案 令和3年度中間決算案(案)について

「各常設委員会」
◆運営委員会 第4回 12月7日
1. 令和3年度事業の実施状況について
2. 令和3年度中間決算の実施状況について
3. 正会員の入会について ほか
◆総務委員会 第3回 3月10日
1. 令和4年度事業計画(案)について
2. 令和4年度収支予算(案)について
3. 都知事感謝状の推薦(案)について ほか
◆広報委員会 第4回 2月15日
1. 令和4年度広報委員会事業計画(案)について
2. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について
3. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について

◆各常設委員会
◆運営委員会 第4回 12月7日
1. 令和3年度事業の実施状況について
2. 令和3年度中間決算の実施状況について
3. 正会員の入会について ほか
◆総務委員会 第3回 3月10日
1. 令和4年度事業計画(案)について
2. 令和4年度収支予算(案)について
3. 都知事感謝状の推薦(案)について ほか
◆広報委員会 第4回 2月15日
1. 令和4年度広報委員会事業計画(案)について
2. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について
3. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について

万全の対策で試験突破! 目指せ! スペシャリスト

各コース募集中!

1-2級 造園施工管理技士
一次コース(1級)
一次・二次コース(2級)
二次コース

1-2級 土木施工管理技士
一次コース
一次・二次コース(2級)
二次コース

関連講座一覧
◆1-2級建築施工管理技士 ◆1-2級エクステリアプランナー実地
◆1-2級管工施工管理技士 ◆給水装置工事主任技術者
◆1級舗装施工管理技術者 ◆CPDS認定講習

資格取得や企業研修など、人材育成についてご提案致します。

日建学院コールセンター 0120-243-229
株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

事務局からのお知らせ

研修会・講習会等のお知らせや事務局の活動を掲載しています。下記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。今後も随時更新します!

ホームページ
フェイスブック
インスタグラム

訃報

故大西正二氏(㈱アーバンエクステリア 相談役 令和4年3月11日(逝去))

◆各常設委員会
◆運営委員会 第4回 12月7日
1. 令和3年度事業の実施状況について
2. 令和3年度中間決算の実施状況について
3. 正会員の入会について ほか
◆総務委員会 第3回 3月10日
1. 令和4年度事業計画(案)について
2. 令和4年度収支予算(案)について
3. 都知事感謝状の推薦(案)について ほか
◆広報委員会 第4回 2月15日
1. 令和4年度広報委員会事業計画(案)について
2. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について
3. 令和4年度広報委員会収支予算(案)について